

戸畑区日本共産党後援会ニュース

とばたの風

第44号

2014年2月発行

発行責任者
配川 寿好

北九州市戸畑区
天籟寺1丁目1番15号
Tel.873-3735
(部内資料)

安倍政権では暮らしも平和も危ない! ——大企業には減税、国民には増税——

暴走ストップの声、戸畑からあげよう

やりたい放題の暴走

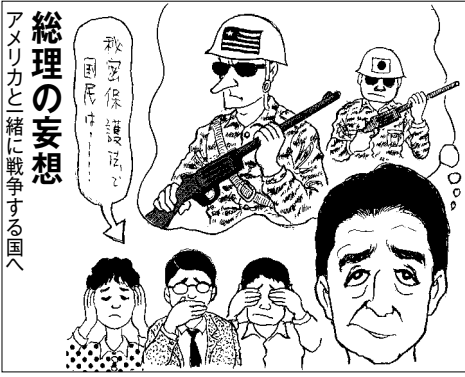
安倍政権は参議院選挙の圧勝以来、国会も開かず消費税率の8%引き上げを宣言し、特定秘密保護法の強行、年金の引き下げ、介護保険の改悪等々国民を苦しめる暴走を続けています。また、原発再稼働には熱心ですが、未だ復興の進まない被災地には知らぬふりを決め込んで、大企業の復興特別法人税を廃止しようとするなど、血の通わない冷たい政治を進めています。

4月から消費税が8%に引き上げられれば、国民の負担は8兆円も増えるといわれ、円安による物価上昇と合わせて国民生活に大打撃を与えます。景気回復のために働く人々の賃上げをと迫られても、首相は企業とりあえず「お願い」するにとどまっています。それどころか国民の復興住民税は増税するというのですから、一体誰のための政府か!と怒りがこみ上げます。

「戦争する国」への暴走ノー!!

安倍首相の頭の中は、国民生活の苦難解決よりも、わが国を「戦争をする国にした」という願望でいっぱいなのです。そのための集団的

自衛権の行使に憲法解釈をねじまげてでも踏み込もうとしています。ついには国会で北朝鮮の名をあげて国際紛争の可能性を例示するなど、好戦的な姿勢を示しています。憲法9条に守られて平和国家となる道よりも、再び天皇を現人神として奉り他国と戦争をしようとするなど、時代錯誤の妄想に取りつかれていくとしか言いようがありません。平和で豊かな暮らしをのぞむ国民のねがいと大きくかけ離れた安倍政権の暴走にノ



アメリカと緒に戦争する国へ

がんばっています、戸畑でも

安倍政権の暴走をくい止め、平和とくらしを守るために戸畑でも次のような活動が行われています。

◆年金減額に不服の声

全日本年金者組合が呼びかけ、全国で不服審査請求が11万人を超えて提出されましたが、戸畑でも150人以上が不服を申し立てました。

◆4月からの消費税増税中止を

毎月24日「消費税廃止戸畑



2月11日、JR戸畑駅前にて(上下とも)

◆「原発ゼロの日本」へ

震災、原発事故を受けて発足した「脱原発をめざす戸畑の会」は、事故の起きた3月11日に合わせて、毎月11日「原発ゼロ実現を」と市民に呼びかけて行動を続けています。

◆戸畑出身の仁比そうへい議員も国会で

がんばっています

みなさんのおかげで、再び国会に送っていただいた仁比そうへい参議院議員も、秘密保護法でも米軍基地問題でも、「戦争する国づくり」の野望に真正面から立ちあがり、国民の代弁者として全力でがんばっています。



2月6日、参議院本会議

ヨイサ!

「秘密保護法」強行採決や靖国参拜など安倍政権の暴走が止まらない。日本共産党以外に強力な反対勢力がない状況下、やりたい放題である。日頃政治にあまり関心がなさそうな人たちまで「なんか怖いよね」とつぶやく。昨夏の参院選後、急速にすすむ右傾化が今年も加速するののか▼日本共産党第26回大会決議の中で「危険きわまりないものであるが、恐れる必要はない。この暴走の先に未来はない」という箇所は印象深い。この箇所を念頭に置きながら今年の政治を想像してみよう▼都知事選や名護市長選など重要なたたかいが続いた中、TPPや消費税、沖縄の基地問題等も絡み合って安倍政権が早ければ年内にも行き詰る。加えてアメリカは自国の世界戦略に合わない安倍総理に三行半を突き付ける▼さらにいつまでも実現しない中国、韓国との首脳会談。外交能力まで疑われる。ついには「暴走解散」、「政権投げ出し」。まさかと思われるかもしれないが「未来はない」のだ▼もちろん黙っていて実現するということ意味ではない。しかし必ず国民各層や諸外国から見放される。ここに確信を持ちたい。来春のいっせい地方選はもちろん、国政選挙も視野に入れよう。今年は激動の年になる。



北九州市議員 荒川 徹

大切な命を守るため…満場一致で意見書

有床診療所の多くが地域の医療を担っています。北九州市内でも134施設あります。

しかし、診療報酬の面でも冷遇されており、防火設備の改善も多額の費用がネックとな

って困難な状況です。今回の事故を受けて廃業するところ



が相次ぐのではないかと、関係者から心配する声があがっていました。

財政面を含め支援強化を

そんななか昨年暮れの市議会、有床診療所の患者の生命を守り、良質な医療提供に向けて、防火設備の整備等への十分な財政支援と、スプリングクロー設置の義務付けなどを政府に要請するための「有床診療所の防火設備の整備等に関する意見書」が、満場一致可決されました。日本共産党市議団の提案が実ったものです。

地名に秘められた戸畑の歴史 ①

戸畑郷土史会会員 小石 善則

古代北部九州不弥国の大津との交易の証を最初にもらった聖地洞海、戸畑の浦を制した水軍の物語

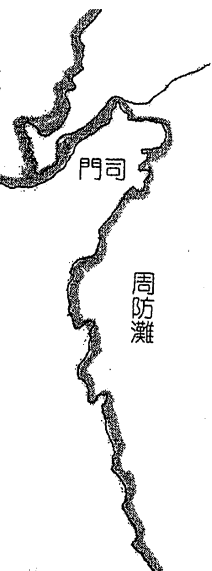
正津・名護屋岬

古代から中国と日本が海を隔てて行き来があったことは知られていますが、戸畑が交易の玄関口として栄えていたことは、あまり知られていない

「現在には新日鉄住金戸畑工場(中)のことです。熊罥の起源をさかのぼると神代にまで至るのですが、今のことに言及する紙数はな

りではないでしょうか。弥生時代から古墳時代にかけて

大和朝廷が成立していく過程の中で、熊罥という豪族の名前がたびたび出てきます。日本書紀には



いので、とりあえず熊罥が北部九州で絶対といってもよい勢力を誇る豪族だったということだけを述べておきます。2千年前のこの地の自然は、霊山(帆柱山)を囲む巨樹の連なりによって神宿る信仰の地となり、戸畑の浦は洞海湾の水軍の本基地であり母港であったのです。現在の洞海湾は埋め立てられて狭くなっていますが、当時は何倍も広く現在の沖台から天籟寺あたりまで湾入しており、正津は天然の良港として活用されたのでしよう。熊罥はそこからはるばる中国へ出かけていき、倭国最初の外交官の役割を務めていたのです。荒海を越えて水軍の士気を鼓舞し運航した隊長の功績は大きく、洞海の王は、中国から賜った蟠竜鏡を隊長に下賜しねぎらったのです。その鏡が牧山古墳から出土したのですが、詳しくは次回に。

きれいな空気を吸いたい

大木 和彦さん(菅原在住 61歳)

天籟寺で生まれた大木さんは、大学時代を除き一貫して戸畑を離れたことがありません。長年、コンピュータ部門の技術者として福岡市の職場に通っていましたが、一昨年の3月退職。それを機に、体調維持のためにとウォーキングを始めたところ、すぐに喉をやられてしまい、空気の汚れを実感しました。サラリーマン時代は、朝家を出てから、夕方家路につくまで戸畑にいなかったのが気づきませんでした。自宅から眺める響灘



自作のエアーサンプラー(集塵装置)を手に

沿岸の工場群の一角は、「常に粉塵が舞っているようではっきり見えない」と言います。戸畑は、空気中の『ばい塵』の量が市内で最も多い地域です。機械いじりが好きで、愛車の整備や家電の修理などたいがいのことは自分でやってしまいます。その特技を生かして「まずは調べてみよう」と、『ばい塵』を採取する装置をつくり、自宅をはじめ、知り合いの家などにそれを置かせてもらい、調査をはじめました。集めた煤塵は、拡大鏡で見ても金属片が混じっているのがわかるくらいだそうです。「空気の汚れがどうなっているか、今のうちにデータを集めておけば将来必ず役に立つ」と、『ばい塵』集めの協力者を募っています。

その大木さんはいま、高齢者でも楽に取り扱える「カラス被害」防止用のゴミネットができないかと、考えを巡らせています。

「名古屋大岡ノ県(遠賀郡)の地域図

玄海灘



くすりのことなら

ふれあい薬局戸畑店

戸畑区新池1丁目5-30

☎ 093-881-2332